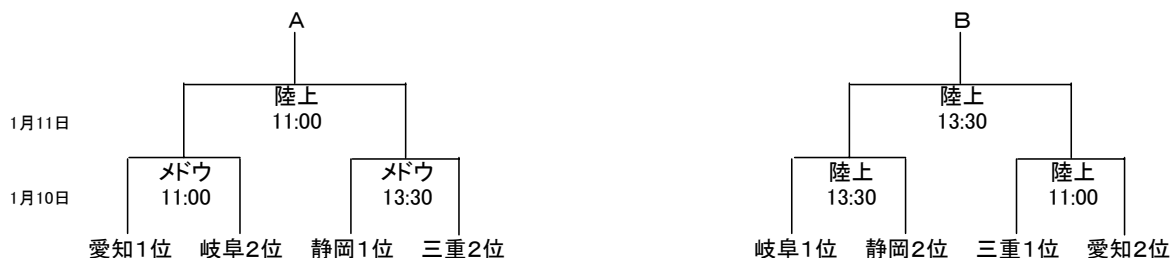


## 第43回(2008年度)東海社会人サッカートーナメント大会要項

1. 主催 東海サッカー協会・東海社会人サッカー連盟
2. 主管 (財)岐阜県サッカー協会社会人連盟  
大会責任者 (財)岐阜県サッカー協会理事長 尾関 孝昭  
運営責任者 (財)岐阜県サッカー協会社会人連盟委員長 三浦 陽一
3. 期日 2009年1月10日(土)・11日(日)
4. 会場 長良川球技メドウ(1月10日)・長良川競技場(1月10日・11日)
5. 大会規定
  - (1)競技規則  
2008年度(財)日本サッカー協会制定の最新の競技規則を適用する。
  - (2)選手エントリー  
①22名を限度とし、参加申込み後のエントリー変更は認めない。  
②外国籍選手は5名までエントリー可とし、試合への登録・出場は 3名までとする。  
③エントリー選手は各県リーグの当該チーム最終節までに登録済みであること。
  - (3)試合時間  
①80分(40分ハーフ)とする。同点の場合は20分の延長戦を行い、なお同点の場合はPK方式により次回戦に進むチームを決定する。  
②ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
  - (4)選手交代  
5名登録中の3名まで交代可能。
  - (5)退場選手等の扱い  
次の公式戦への出場を停止する。以後の処置は本大会の規律・フェアプレー委員会にて裁定する。
  - (6)ユニホーム  
①正副2着色違いのものを用意すること。  
②ユニフォームは(財)日本サッカー協会ユニフォーム規定に合致していること。  
③選手は参加申込み書に記載された番号のユニフォームを着用すること。
  - (7)ベンチ  
①組み合わせ表の左側のチームが本部室からピッチに向かって左側、右側のチームが右側とする。  
②ベンチに入る事のできる人数は、チーム役員最大6名と交代選手5名とする。
  - (8)テクニカルエリア  
テクニカルエリアを設置する。試合中に指示できる人物は特定せず、その都度1名とする。
  - (9)ウォームアップ  
①ピッチ内の使用は試合開始30分前から15分間とする。使用人数は16名以内とし、監督・コーチは別途2名まで可とする。  
②試合中はハーフウェーラインから遠い位置のベンチ横の指定された場所でボールを使わずに行う。
  - (10)試合ボール  
大会運営側で用意する。
  - (11)選手登録証の提示  
出場選手は必ず(財)日本サッカー協会選手登録証を持参すること。なお、選手登録証には必ず顔写真が貼付けされていること。
  - (12)チーム受付とマッチコーディネーションミーティング  
①出場チームは試合開始100分前に受付を完了しメンバー表、交代用紙他関係資料を受け取ること。  
②試合開始70分前にマッチコーディネーションミーティングを行う。  
③出場チームのマッチコーディネーションミーティング出席者は2名以内とし、原則監督は出席すること。  
④出場チームはユニホームの正副各1着とメンバー表及び、(財)日本サッカー協会選手登録証を持参すること。  
なお、選手登録証はマッチコーディネーションミーティングの前にメンバー表の順に並べておくこと。
  - (13)A,B各ブロックの優勝チームは平成21年度東海社会人リーグに昇格できる。なお、昇格チームに順位付けを必要とする場合はAブロック優勝チームを1位、Bブロック優勝チームを2位とする。
  - (14)本大会の規律・フェアプレー委員会を次の通り設置する。  
委員長 平田 順一 東海社会人サッカー連盟委員長  
委員 平岡 道朗 東海サッカー協会 審判委員長  
委員 三浦 陽一 岐阜県社会人サッカー連盟
  - (15)大会組合せ



メドウ:岐阜メモリアルセンター長良川球技メドウ  
陸上:岐阜メモリアルセンター長良川競技場